

## 解 答

問一 (1) ① ひとけ ② 夢 ③ こまごま ④ 平生 ⑤ 測（計）  
(2) ④ ウ ⑤ イ

問二 子犬の頃は、虎の子に似たブルドッグで、のそのそものぐさそうに歩いて、うれしい時は一声だけ吠えた。ゴリという土佐ブルと時々格闘し、いつも負けるが、辛抱づよく闘った。仲のよい時は、ゴリに子供のようにあまある一面もあった。

問三 引っ越した後も、住みなれた前の家にもどってしまい、食物もろくにとらず野良猫になった。やせ衰え、死にそうになりながらも、古い家から離れられずうろつきまわる、その姿とその習性をあわれんでいた。

問四 勝ち目のない相手にも格闘を挑んでいく、負けん気が強く純粋な鉄の性格と行動を、あきれながらも好ましく思っている。面倒もさほど苦にならず、叱ると申し訳なさそうな態度をとる鉄をかわいく思っている。

問五 とうてい勝てる相手ではないとわかっていても、闘うことで鉄はブルドッグとしての本性を確かめていたのである。鉄にとってゴリは、生活に張りを与えてくれる、互いに認めあった親友のような存在だったのだ。

問六 四年前、ディステンパーになった時も「まあ、あきらめてもらいましょうか」と言われたが助かったのに、今回は言葉どおりになってしまった。あきらめきれない思いをかみしめながら、鉄の死を心から悼んでいる。